

歌や演奏 笑顔で交流

中国の生徒が常滑高訪問



中国の生徒と一緒に記念写真に納まる常滑高の生徒＝同高で

県内を訪問中の中国・広東省仏山市にある順徳華僑中学の生徒たちが二十五日、常滑市の常滑高校を訪れ、同校国際理解コースの生徒らと交流した。

県と広東省が締結している友好交流のための覚書に基づいた交流。二十三～二十九日の日程で県内に滞在し、各地を回る。二十五日からは常滑高校の生徒の家庭でホームステイをするという。

この日は同校の生徒を前に、中国衣装を着たショーや、日本語と中国語を交えた歌を披露。常滑高校の生徒は剣道の形を実演し、しの笛で「さくらさくら」を演奏した。日本の生徒と中国の生徒が英語でやりとりするコーナーもあり、常滑高校の生徒からの「中国のおいしい食べ物は何か」といった質問に、順徳華僑中の生徒は笑顔で答えていた。

(小西数紀)